



COMPANY PROFILE

会社案内

三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい4-4-2 横浜ブルーアベニュー TEL. 045-227-1280 (代表／総務部)
<https://www.mhi.com/jp/group/mhiec/>



採用情報



Y-SDGs
— superior —
(横浜市 SDGs 認証制度／私たち)は持続可能な
開発目標 (SDGs) を支援しています



YOKOHAMA
地域貢献企業



OUR MISSION & VISION

豊かな脱炭素社会の実現へ



都市ごみ焼却発電施設



下水汚泥処理施設



リサイクル処理システム



産業廃棄物焼却発電施設



海洋生物付着防止装置

Mission

ただひた向きに
“あたりまえの暮らし”を支える
これまでも、これからも

私たちは創業以来、様々な廃棄物処理の課題に
真摯に向き合ってきました。
これからも、三菱重工グループが持つ先進的な技術で、
衛生的で快適な暮らしを支え続けます。

Vision

Challenge to Change
資源再生を新たなステージへ

ごみ処理に求められるものが
「廃棄物処理」から「資源再生」へと変わったように
常識も時代と共に変わり続けます。
私たちは新たな価値創造のために
既成概念の枠を超えて時代を切り拓き、
“ごみから未来を変えていく”ことに挑戦し続けます。

三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社

OUR STAGE

あたりの暮らしを未来へつなぐために



当社は、環境分野を中心に多様な先進技術と、プラント建設・運転・保守・事業運営にわたる総合力を備え、皆様の生活環境を守ることで「社会のあたりの暮らし」を支え続けてきました。この「あたりまえ」を未来へ受け継ぐことこそ、私たちの重要な使命です。

環境に国境はありません。環境・資源循環をめぐる課題は複雑化し、求められる技術やサービスも大きく変化しています。当社は、日本国内にとどまらずグローバルに事業を展開し、三菱重工グループの総合力を活かして、新たな技術・製品・事業を創出することで、美しい環境を守り続け、社会に貢献します。

私たちは現状に満足することなく、未来の社会が必要とする価値を先取りし、次の世代の豊かな暮らしに確かな価値を残すべく、挑戦を続けてまいります。

代表取締役社長 澤本 嘉正



つくる、見守る、再生する。 廃棄物処理プラントの全ステージをカバーする 総合エンジニアリング

事業計画段階の経済性評価にはじまり、施設・設備の設計や調達、建設、試運転から稼働後の運転、保守・点検、省エネ化などの改善・改造提案にいたるまで、廃棄物処理プラントのライフサイクルを総合的に手がけるのが MHIEC の強み。プラントエンジニアリングの専門家集団として培ってきた技術とノウハウで、環境性に優れたプラントを提案します。

私たちができること

プラント建設時の計画からアフターメンテナンスまで、総合的に施設を見つめ、寄り添います。長期間にわたる運転管理、メンテナンスおよび用役の調達等を一括して受託する長期包括事業、施設をより長くお使いいただくためのストックマネジメントによる長寿命化工事等、お客様に合わせた提案をします。

■ 循環型社会への取り組み

高効率の発電等効率的な運転ならびに再資源化等、これまでの施設づくりや運営のノウハウを生かして、循環型社会推進に取り組んでいます。

■ ライフサイクルコスト低減

建設時だけでなく、その後約 20 年にわたる運転や保守にかかる多額のコストを最適化するため、長年のノウハウを生かした提案をします。

■ 地域防災拠点としての取り組み

単なる処理施設ではなく、ごみ発電と太陽光発電や蓄電池等を組み合わせた地域の電源として、また、耐震設計や用水確保等によって地域の防災拠点として活用される施設づくりにも取り組んでいます。

■ 施設建設後の運営管理

施設の建設だけでなく、DBO (Design, Build, Operate) 方式などによる運営業務の一括委託や、運転管理のニーズにも対応しています。



当社グループ会社による運転管理

■ 重環オペレーション株式会社

高い技術力と当社との密接な連携により、安全、安定操業を実現し、効率的な運営を支援します。また、地元採用による地域貢献にも取り組んでいます。

Our Technology

求められるのは環境性と経済性。 持続可能な社会をささえる 次世代プラントエンジニアリング

廃棄物処理プラントを含めた環境装置に求められるのは、性能はもちろん経済性と環境性を兼ね備えていること。

当社では、三菱重工グループの総合力を最大限に活用しながら、持続可能性に優れたプラントエンジニアリングを提供します。



都市ごみ焼却発電施設

当社ではストーカ焼却炉とガス化溶融炉の2機種を取り扱っています。各種装置の合理的な配置により、ごみを効率的に焼却・無害化処理します。また、各種自動化システムを導入し、少ない人数でも容易な運転管理を実現。焼却後の灰の減容化、排ガスのクリーン処理、スラグの再資源化などの環境対策を徹底するとともに、さまざまな形の余熱利用にも対応しています。



下水汚泥処理施設

下水処理場から発生する下水汚泥を安定的・衛生的に処理します。当社は汚泥脱水機と汚泥焼却炉の技術において、長年蓄積した知見と商品開発により設計・製造・建設・アフターサービスを行っています。近年は、安全・安心に加えて一層の省エネ・創エネを求められており、低動力型遠心脱水機による省エネ、発電付創エネ型汚泥焼却炉により、下水処理のみならず社会全般の環境保護・保全に貢献しています。



産業廃棄物焼却発電施設

主に事業系の高カロリー産業廃棄物を焼却処理し、減容化、無害化、安定化します。近年では、廃棄物の複合リサイクル施設として、多様な廃棄物の適正処理と再資源化に加え、エネルギー回収によるCO₂削減や、廃棄物発電の推進に積極的に取り組んでいます。焼却灰再資源化設備を備えた施設では、無害化された灰をリサイクル製品として販売する例もあります。



MGPS[®] 海洋生物付着防止装置

MGPS[®]は、発電所や海水淡水化プラント、LNG基地などの海水を多量に使用するプラントで、天然の海水を電気分解して次亜塩素酸ソーダを生成し、取水路に注入することで、海水と接する配管、復水器及び気化器等への貝類や藻類の付着を防止する装置です。長年にわたる実績から、トラブルが少なく安定した運転が可能で、当社独自の高性能電極を用いることで優れた経済性を発揮しています。

Our Experience

国内外での豊富な納入実績と
技術および運営ノウハウを背景に、地域ニーズに応じた
ソリューションを提案しています。

Solutions

■ 燃焼技術

長年積み上げてきた実績と技術をもとに、処理対象物に対して最適な燃焼技術を提案しています。近年では、低空気比・低 NOx 燃焼技術や、焼却炉の形状を V 字型にすることで輻射熱を効率的に利用し、コンパクトな燃焼エリアで多様な廃棄物を高効率に焼却・減容化する「V 型ストーカ炉」を開発。お客様の幅広いニーズにお応えできるよう、技術開発に力を入れています。

■ 配管・空間設計技術

プラント内の限られた空間の中で、プロセスフロー、メンテナンス性などの各機能を満足するため、各種プロセス条件に適した配管設計を行います。また、複雑なプラント設備の空間構成を統合した 3D プラントモデル内でシミュレーションし、信頼性の高い設計を提供しています。

■ 廃棄物処理施設の長寿命化技術

近年では様々な社会的理由・背景により、既存の施設の長寿命化の需要が増加しています。当社は各施設の整備状況を踏まえ、これまでに蓄積された施設改善の様々なノウハウを活かして、お客様の施設に応じた長寿命化・基幹更新メニューを提案しています。

■ プラントスマート化(焼却施設のスマート化)

自然災害やパンデミックのような予期せぬ事態、さらには不確実性が高まる現代社会において、安定した施設運用と持続可能性の確保が求められています。こうした社会課題に対し、当社は AI と IoT を融合したプラント統合運用システム「MaiDAS®」を開発。高度な制御ロジックによる自動運転、AI による機器状態の把握、遠隔監視・運転支援技術により省人化を実現し、施設の安定稼働とサステナビリティ向上に貢献しています。

Results

中国や東南アジア諸国を中心とした世界の国や地域に
30以上の廃棄物処理施設を納入しています。

■ 都市ごみ焼却施設のグローバル展開



シンガポール

現在シンガポールで既存の 4 プラントのうち、3 プラント (SIP、TSIP、TuasOne) を当社が納入しています。中でも民間資金活用型 (PPP) の契約形態で建設、運営されている TuasOne は、高温高压ボイラや AI 機能を備えた運転制御等の最新技術を適用した世界最大級の都市ごみ焼却施設 (3,600t/ 日) であり、当社グループで 25 年間の運転委託 (O&M) を請け負っています。



台湾(新北市)

当社は台湾において 7 プラントを納入しており、そのうち新店・樹林プロジェクトにおいては、当時台湾最大規模のプラントを設計から建設・試運転・保証責任までのすべてを請け負うフルターンキー方式にて納入しました。またプラント引渡後、1 年間の運転委託 (O&M) も請け負いました。



中国(孝感市)

近年成長著しい中国では、廃棄物発電事業への関心も高まっており、当社は多数のプラント納入実績を誇っています。湖北省・孝感市向けのプロジェクトにおいては、(一社)日本産業機械工業会が主催の「優秀環境装置表彰」における最高位「経済産業大臣賞」を受賞した高効率且つ高い環境性を持つ当社の V 型ストーカ炉を納入しました。



マカオ

観光業の発展に伴い経済成長が進むマカオにおいて、当社は 1992 年の 1 期 (3 炉) 建設に加え、処理能力を倍増する為に計画された 2 期 (3 炉) 増設工事でも請け負いました。本施設は 30 年以上に亘りマカオの廃棄物処理を担い、都市の発展に大きく貢献しています。

Our Profile

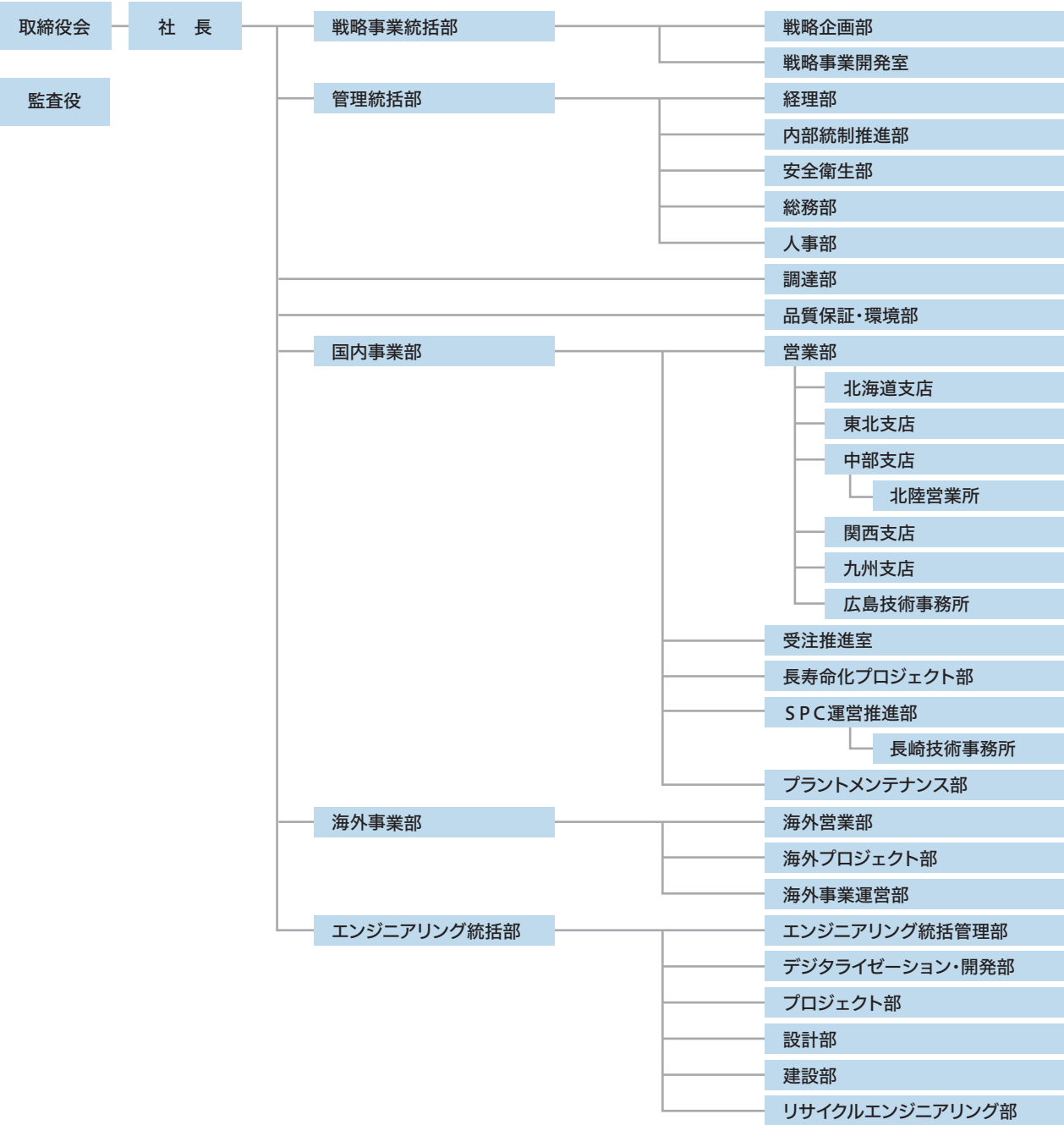
会社概要

商号	三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社 Mitsubishi Heavy Industries Environmental & Chemical Engineering Co., Ltd. 略称：MHIEC
本社所在地	〒220-0012 横浜市西区みなとみらい四丁目4番2号 横浜ブルーアベニュー
電話	(045)227-1280
設立	1976年2月2日
資本金	34.5億円(2026年3月31日現在) 三菱重工業(株)100%出資
従業員数	680名(2026年4月1日現在)

沿革

1958年	三菱重工業(株)が環境装置製品の取り組みを開始
1976年2月	三菱重工業(株)の環境装置製品のアフターサービスおよび 運転維持管理業務を専門に行う会社として、重工環境サービス(株)を設立
1987年8月	三菱重工環境エンジニアリング(株)に商号変更
2006年1月	汚泥処理装置(汚泥焼却、汚泥処理、水処理装置)、海洋生物付着防止装置、 ごみ真空輸送装置、ごみ中継基地の新設事業を三菱重工業(株)から事業譲渡
2007年4月	電気集じん装置の新設事業を三菱重工業(株)から分割承継
2008年4月	廃棄物処理装置(都市ごみ焼却炉、産業廃棄物焼却炉等)の新設事業を 三菱重工業(株)から分割承継
2009年10月	電気集じん装置、水質汚濁防止装置、溶剤回収装置、 太陽光発電システム等の事業を三菱重工メカトロシステムズ(株)に分割 石油・化学プラント等のエンジニアリング会社である菱和エンジニアリング(株)を 吸収合併し、三菱重工環境・化学エンジニアリング(株)に商号変更
2012年4月	事業再編に伴い、石油・化学プラント等のエンジニアリング事業を MHPS エンジニアリング(株)に分割
2016年4月	事業再編に伴い、排煙脱硫装置の国内アフターサービスに係る事業を 三菱日立パワーシステムズ環境ソリューション(株)に分割

組織図



2026年4月1日現在



■営業拠点及び技術事務所

北海道支店	〒060-0005 札幌市中央区北五条西6丁目2番2号 札幌センタービル10階 TEL(011)222-2501	関西支店	〒550-0001 大阪市西区土佐堀一丁目3番20号 三菱重工大阪ビル7階 TEL(06)6446-4080
東北支店	〒980-0013 仙台市青葉区花京院二丁目1番65号 いちご花京院ビル8階 TEL(022)212-3971	九州支店	〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8番27号 第16岡部ビル6階 TEL(092)471-7823
中部支店	〒451-0045 名古屋市西区名駅二丁目22番9号 あいおいニッセイ同和損保名古屋駅ビル4階 TEL(052)541-2801	広島 技術事務所	〒732-0824 広島市南区的場町一丁目2番16号 グリーンタワー9階 TEL(082)262-7311
北陸営業所	〒920-0062 金沢市割出町三番地1 TEL(076)254-5980	長崎 技術事務所	〒850-0032 長崎市興善町2番21号 明治安田生命長崎興善町ビル TEL(095)825-6515

Mitsubishi Heavy Industries Asia Pacific Pte. Ltd. (MHI-AP)

150 Beach Road, #29-00 GATEWAY WEST, Singapore 189720, Republic of Singapore
TEL 65-6305-5200

Mitsubishi Heavy Industries (China) Co., Ltd. (MHIC)
Shanghai Branch

26th Floor, HSBC Tower, 1000 Lujiazui Ring Road, Pudong New Area, Shanghai, 200120, China.
TEL 86-21-6841-3030

■国内グループ会社

重環オペレーション株式会社

ごみ処理施設、汚泥再生処理施設、水処理施設などの運転・保守・管理

- 設立／1983年6月 ● 資本金／9,000万円
- 本社： 〒850-0032 長崎県長崎市興善町2-21
TEL(095)825-6381
- 横浜本社：〒220-0012 横浜市西区みなとみらい4-4-2
横浜ブルーアベニュー14階 TEL(045)227-1250

MHIエアポート環境株式会社

関西国際空港内で発生する一般廃棄物の収集・運搬・分別・破碎・
焼却処理・再生資源品引渡し

- 設立／1994年2月 ● 資本金／1,000万円
- 〒549-0021大阪府泉南市泉州空港南1番地
TEL(072)456-6185

■特別目的会社

釧路エコクリエーション株式会社
青森エコクリエーション株式会社
岩手中部エコクリエーション株式会社
大崎エコクリエーション株式会社
山形エコクリエーション株式会社
あぶくまエコクリエーション株式会社
鹿島エコクリエーション株式会社

千葉エコクリエーション株式会社
高座エコクリエーション株式会社
三条エコクリエーション株式会社
尾張北部エコクリエーション株式会社
益田エコクリエーション株式会社
長崎東エコクリエーション株式会社
長崎西エコクリエーション株式会社

株式会社ひむかエコサービス
株式会社バイオマスパワーしずくいし
東京環境オペレーション株式会社

■海外グループ会社

Tuas One Pte. Ltd.(シンガポール)
MHIEC Eco Creation Singapore Pte. Ltd.(シンガポール)

■国内グループネットワーク

- 本社
- 支社・営業所等／8カ所
- グループ会社／2社
- 特別目的会社／17社



■海外グループネットワーク

- 支社・営業所等／2カ所
- グループ会社／2社

